

wing

いわき市男女共同参画情報紙
Iwaki Gender Equality Journal
ウィング 2025 | Spring
vol. 62



特集 進んでいるのかな？男女共同参画 ～過去のWingと比べて～

- 特集 進んでいるのかな？男女共同参画
～過去のWingと比べて～ P2～P5
- 「福島県パートナーシップ制度」が始まりました
..... P5

- 令和6年度事業報告 P6～P7
- 「男女共同参画の日」講演会
- 女性活躍推進セミナー
- 人権セミナー
- 転入女性交流のつどい
- 「男女共同参画の日」川柳入賞作品
- いわきのさんかくさん P8

特集

進んでいるのかな?男女共同参画 ～過去のWingと比べて～

●男女共同参画って何?

性別に関係なく、みんなが相手のことを思いやり、相手が自分と違うということをお互いに理解し合い、協力し合うことで、いろいろなことにチャレンジでき、個性や能力を生かして、自分らしく生き生きと暮らせる社会を目指す考え方です。



同じチャンスを持つこと

女の子も男の子も同じように夢を追いかけて、好きなことを学んだりできるようにすることが大切です。例えば、女の子もスポーツが上手になれるチャンスがあるし、男の子も料理が上手になれるチャンスがあるということです。



差別をなくし、お互いを尊重すること

みんながそれぞれ違う個性を持っています。男女共同参画では、女性も男性もお互いの違いを認めて、尊重することが大事だと考えています。つまり、性別に関係なく、相手の意見ややりたいことを理解し合うことを大切にします。



家庭でも社会でも協力し合うこと

家庭や社会では、女性も男性も協力して活動することが重要です。例えば、家の手伝いをみんなで分け合ったり、学校や地域の活動を一緒に頑張ったりすることです。これによって、みんなが幸せに暮らすことができます。



女性の役割、男性の役割がそれぞれ決まっているわけではないこと

「これは女性に、あれは男性に向いている仕事だ／科目だ」などと、女性と男性でそれぞれ役割が決まっているわけではありません。自分が将来本当にやってみたい仕事や勉強などがあるなら、男女の区別なく自由に選んでよいのです。



いわき市の男女共同参画って進んでるの?

過去のWingの記事を参考に男女の家庭内の役割や社会進出などにどのような変化があったか見ていきましょう。



43号

みんなで再確認！ 男女共同参画してるかな？

Wing43号（2015年10月発行）で取り上げた家庭における役割分担のグラフを最新の調査結果と見比べてみましょう！

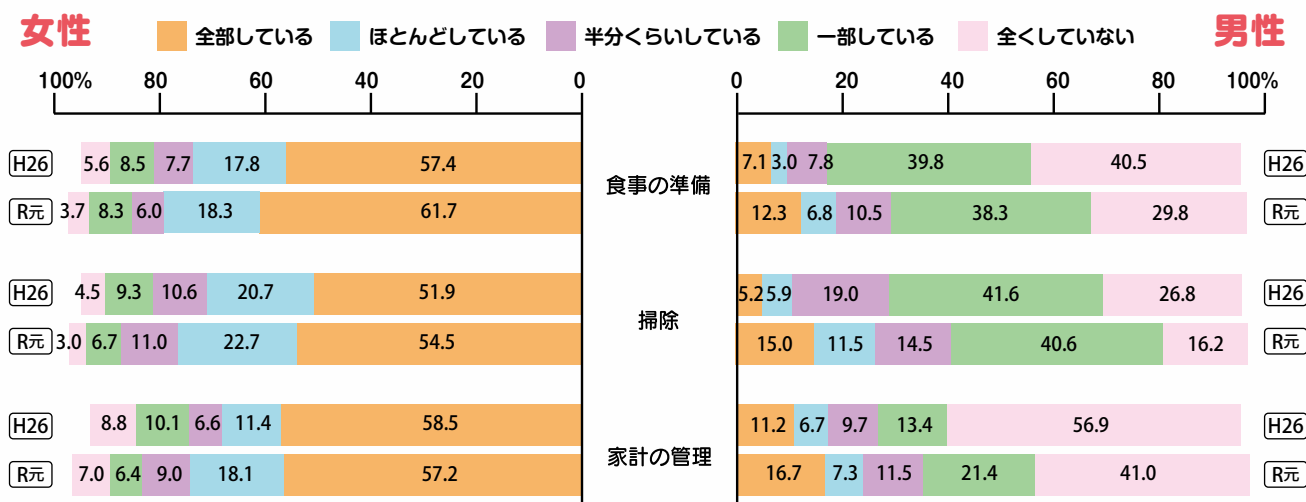


※上段：平成26年いわき市
男女共同参画市民意識調査

※下段：令和元年いわき市
男女共同参画市民意識調査



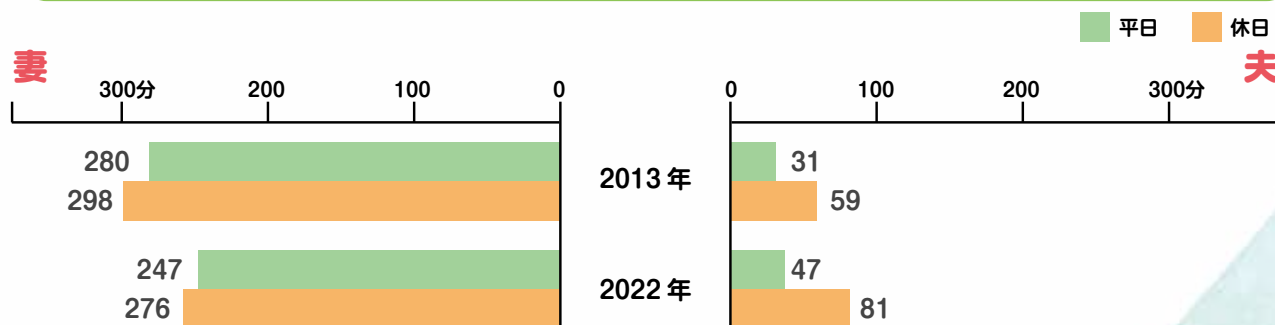
家庭における役割分担を見てみよう



男性の「全くしていない」の割合が減少し、家事をしている割合が増えてきていることがわかります。

国の研究所の統計を見てみよう

国立社会保障・人口問題研究所の「全国家庭動向調査」における妻と夫の家事時間の調査結果



夫の家事労働時間も増えてきてますが、妻の家事時間と比較すると、3時間以上女性の方が多く負担してる事がわかります。

男女共同参画をさらに進めるためには、家庭内における男性の家事負担割合を高めていく必要があります。そのためにはどのようにしたらいいのか考えてみましょう。

[次ページへ](#)

さらに家庭内の男女共同参画を進めていくには？

■企業、職場での理解、協力

残業を減らすことや育児休業の取得促進など、企業の取組みも必要です。

市内にはイクボス宣言をしている企業が80社(令和6年12月末時点)あります。

「イクボス」とは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のこと(NPO法人ファザーリングジャパンより)です。

■学校教育

教育現場において、男女共同参画について学ぶ時間を増やすことが、将来的に男女共同参画社会の実現につながります。

■家庭内での話し合い

家庭内でお互いの得意、不得意分野について話し合ったり、分担できる家事を明確にすることによって、家族間の協力が進むことが期待できます。家事は女性が行うものとの固定概念をなくすることも重要です。

■家事ラクのすすめ

家事ラクとは家事を楽(ラク)に早く、もっと楽しくする方法のことです。

家事を減らすという発想が重要です。

料理は手作りするなどの考え方にこだわらず、ヘルシーな冷凍食品やレトルト食品を上手に活用すると負担が減ります。

また、家電もより便利な製品が開発され、家事労働の短縮につながるものが増えてきています。



35号

人権男女

ちよっと立ち止まって大切なのは何？

Wing35号(2011年3月発行)で取り上げられている項目を現在のデータと見比べてみましょう。

男性の育児休暇取得率は？

1.56%

平成19年

30.1%

令和5年

※厚生労働省「雇用均等基本調査」

令和5年は平成19年に比べると国の法制度の整備や補助金の充実等により、大幅に取得率が上がっています。

子育て中の家庭がより取得しやすい環境づくりと理解が大切です。

給与格差について、男性一般労働者の給与水準を100としたときの女性一般労働者の給与はどのくらい？

67.8

平成20年

74.8

令和5年

※厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

令和5年の数値では、女性の給与水準は男性の約75%にまで改善されています。これは国際的なジェンダー平等の取組みや、企業等でのDEI(多様性、公平性、包括性)の促進による成果と考えられます。

29号

ハラスメント (悩みの種・嫌がらせ)を考える

Wing29号(2008年3月発行)で取り上げられている項目を現在のデータと見比べてみましょう。



wing vol.29

モラルハラスメント

パワーハラスメント

セクシャルハラスメント

アルコールハラスメント

ドクターハラスメント

アカデミックハラスメント

※赤文字は現在でも取り上げられることが多いハラスメント

令和6年度

ジェンダーハラスメント

リストラハラスメント

マタニティハラスメント

カスタマーハラスメント

リモートハラスメント

ワクチンハラスメント

ハラスメントハラスメント

スモークハラスメント

パワーハラスメントは依然として多い状況にあります。
また、パワハラ防止法は、^{ソジ}SOGIハラやアウティングが追加されたりと内容が変わっているので、定期的に知識のアップデートを行うことも大切です。

コロナ禍があってリモートワークや予防接種関係の用語が増えています。
ハラスメントについて、無自覚に相手を不快にさせていないか考えるとともに、**お互いに理解し合う努力が必要です。**

編集委員 の感想

データを比べると、男女共同参画は進んできていますが、まだまだと思います。男女共同参画に関する国の基本法や市の条例の主旨にある社会を目指し、男女共同参画をさらに進めていくには、皆がお互いを尊重し、協力していくことが重要だと思います。

お知らせ

「福島県パートナーシップ制度」が始まりました

福島県では、県民一人一人が個人として尊重され、それぞれが選んだ生き方を認め合い、誰もが生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現を目指し、「福島県パートナーシップ制度」を運用しています。
法的に婚姻が認められていない戸籍上同性のカップルや、様々な事情により婚姻の届出をしていないカップルが、家族として扱われないことによる生活上の不便さを軽減し、誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らすことができる環境づくりを進めるものです。



詳しくは福島県公式ホームページをご覧ください。

「福島県パートナーシップ届出書受理証明書」の提示で利用できる いわき市の行政サービス (令和7年2月末時点)

いわき市においては、県の受理証明書を提示いただくことで、各種行政サービスがご利用いただけます。

- 市営住宅への入居申し込み
- 犯罪被害者等に対する見舞金等の支給
- 住民票上における「縁故者」への続柄変更
- 救急搬送証明書の交付
- U・I・Jターン支援事業移住支援金の申請
- 予防接種の償還払い



詳しくはいわき市公式ホームページをご覧ください。

令和6年度事業報告

「男女共同参画の日」講演会

日時：令和6年11月10日(日) 13:20～
場所：いわき産業創造館 企画展示ホール

あなたの地域は災害時に、 命と健康を本当に守れますか？

～高齢者・子ども・女性の視点から対策の質を上げよう！～

●講 師：減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所
招聘研究員 浅野 幸子 氏

●参加者：市内の防災関連女性団体等

災害対策での男女共同参画の視点の重要性や、能登半島地震などにおける支援の実情から見えてきた課題などについて講演いただきました。グループワークでは、避難所において想定できる諸問題にどう対応するか、5つに分けたグループ内で意見交換を行いました。



女性活躍推進セミナー (いわき市女性活躍推進 企業認証指定講座)

日時：令和6年10月30日(水) 14:00～
場所：いわき市文化センター 3階大会議室



アドラー心理学に学ぶ！ 女性が活躍できる職場づくり

●講 師：北村 優子 氏
(産業カウンセラー、
アドラー心理学勇気づけトレーナー)



「アドラー心理学」の理論をもとに、事例やワークを通して、女性が活躍でき、誰もが働きやすい職場となるための対人関係のヒントやコミュニケーションのコツなどについて講義いただきました。

参加者からは「質の高いコミュニケーションとは『相手の話をよく聴く』ということに気づかされた」、「人によって見方や考え方はさまざまであることを頭において、人との関係性の構築に役立てたい」などの感想をいただきました。

人権セミナー

日時：令和6年12月20日(金) 14:00～
場所：いわき市文化センター 3階大会議室

だれもが働きやすい職場づくり ～LGBTQ/SOGIEから考える～

●講 師：市民団体さんかく代表 三戸 花菜子 氏

LGBTQやSOGIEについて、基礎知識の理解を深めるとともに、LGBTQの方々の思いを知ることにより、職場や地域において私たちが「味方」になることの重要性などのお話に、参加者からは「一人でも多くの方が他人事ではなく自分事として意識し、学童期から多様性に対して理解をしていく必要性を感じた」などの感想をいただきました。



転入女性交流のつどい

日時：令和6年10月16日(水)、12月4日(水) 10:15～
場所：いわき産業創造館 企画展示ホール

10月に「おしゃべり交流会」、12月に「クリスマス交流会」が開催されました。参加者は自己紹介後、いわきに住んだ感想やお勧めのお店等の日常生活の話題などで和やかに懇談し、親睦を深めていました。



男女共同参画の日

市では、男女共同参画についての理解と関心を深めるため、11月の第2日曜日を「男女共同参画の日」と定め、「男女共同参画に関する川柳」を募集しました。

男女共同参画に関する川柳 入賞作品

898人の市民の皆様から、1,816句のご応募をいただきました。

小学生の部、中学生の部、高校生の部、大学生・一般の部の各部門ごとに厳正なる審査を行い、力作ぞろいの中から最優秀賞、優秀賞、佳作、審査員特別賞、学校賞を決定しました。

小学生の部

優秀賞 なかよしの ひけつは家事の はんぶんこ 【湯本第三小学校六年】	優秀賞 妹は ママだっこより パパのはら 【湯本第三小学校三年】	最優秀賞 父がいく 交通安全 母の会 【柳ヶ丘小学校六年】
審査員特別賞 妹を 昆虫図鑑で 寝かしつけ 【藤原小学校三年】	佳作 ジジとババ ならんでいっしょ 草むしり 【大浦小学校三年】	佳作 お互いに おぎなえあえば いいんだね 【湯本第三小学校四年】

中学生の部

優秀賞 父の顔 「家事した寝て」 おかしいぞ 【中央台北中学校一年】	優秀賞 男でしょ？ 差別は身近な 言葉から 【赤井中学校二年】	最優秀賞 せまいけど 笑顔がたえない 台所 【中央台北中学校一年】
審査員特別賞 父と母 仕事と家事を 2刀流 【小名浜第二中学校一年】	佳作 家事分担 毎日飛び交う ありがとう 【内郷第二中学校一年】	佳作 役割より 大切なのは 思いやり 【湯本第三中学校一年】

高校生の部

優秀賞 彼が言う 「洗濯干してた」に 惚れ直す 【磐城桜が丘高等学校一年】	優秀賞 共に家事 それでも言おう 「ありがとう」 【磐城桜が丘高等学校一年】	最優秀賞 父の手料理 かすかに残る 母の味 【小名浜海星高等学校一年】
審査員特別賞 父と母 家事の取り合い プチけんか 【磐城桜が丘高等学校一年】	佳作 辛い家事 1人じゃダメでも 2人なら 【小名浜海星高等学校二年】	佳作 食べてみる だれの味か すぐわかる 【磐城桜が丘高等学校一年】

大学生・一般の部

優秀賞 我が後任 女性会長 三年目 【志賀英信さん】	優秀賞 男女共同 明治の母に 欲しかった 【中山かず子さん】	最優秀賞 飯まだか 昭和の親父 期限切れ 【永田智子さん】
審査員特別賞 黄帽子の 時に戻りて 手をつなご 【新妻吉人さん】	佳作 逝っちゃった あなた居なくて 超不便 【藤田汎子さん】	

学校賞

市立永崎小学校・市立湯本第三小学校
市立中央台北中学校
市立赤井中学校
市立内郷第一中学校
県立磐城桜が丘高等学校
県立小名浜海星高等学校



入賞者を代表して、いわき市立中央台北中学校で表彰状を贈呈しました。

いわきの さんかくさん



～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



今回はWingの
編集委員を終える
皆さんに
インタビュー
しました。

Q&A

Q 編集委員の活動の中で一番印象に残ったことは何ですか？

A いろいろな言葉を覚えたことです。アンコンシャス・バイアスやフェムテックなどジェンダーに関する言葉がたくさんあって、知ることの必要性を感じました。(加藤)

A 中学校の制服について取材したことです。私が学生の頃、自分の制服姿に違和感を覚えて生活をしていました。その頃はそれが当たり前で他に選択肢がないと思い込んでいましたが、制服が性別問わず選択できる中学校ができてとても驚きました。制服を導入する前に誤解を生まぬように説明の場を作っているなど、生徒たちのことを考えてくれている学校にも感動しました。(影井)

A トイレの問題を取り上げ、取材で自主的に市内外のいろいろなトイレを見て歩いたことが印象深かったです。そして災害時のトイレの課題にも取り組み、トイレトレーラーを見学した後に能登の震災があり、必要性を感じました。(小林)

A 中高生にジェンダーについてのアンケートを取ったことです。若い世代は多様性についてとても柔軟な考えをもっていることに感動しました。(鈴木)

A 福島県男女共生センターに取材に行ったことが印象に残りました(緑川)

Q これから挑戦したいことは何ですか？

A 何か資格を取ることにチャレンジしたいです。(加藤)

A 自分で作った作品を販売したいです。それとモノづくりで使う道具を自作したいので、金属加工や木材加工にも挑戦したいと思っています。(影井)

A 全世代型(子ども・高齢者)の集える居場所づくりをしたいです。子ども・未来の人に生きやすい地域(地球環境)を繋げたいです。(小林)

A 終活です。身近な人の死を経験し、後悔のない日を過ごしたいです。旅行が好きなので、できる限り旅をしたい。毎日が終活だと思います。(鈴木)

A 学校と保護者、児童生徒を適切に繋げる活動をしたいです。(緑川)

Wingのリニューアルのお知らせ

情報紙「Wing」は、1993年(平成5年)に「女性情報紙」として創刊しました。2001年(平成13年)発行の第16号からは、「男女共同参画情報紙」として発行され、今号で62号となりました。令和5年4月に「男女共同参画センター」が「男女共同・多文化共生センター」になったことに伴い、次号からは、男女共同参画に加え、多文化共生、人権、ユニバーサルデザインなどを発信する情報紙にリニューアルする予定です。



wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウィングー
vol.62 2025年3月 発行
編集長：加藤 藤子
編集委員：影井 和也 小林美智子
鈴木かおり 緑川 琴江

発行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4
Tel.0246-41-9201 fax.0246-41-9202
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

いわき市女性活躍推進ポータルサイト
詳しくはこちら▶



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。